

宇部市健康づくり推進審議会にかかる報告書（令和3年度第1回）

- ・ 書面送付年月日 令和3年8月25日（水）
- ・ 意見聴取期間 令和3年8月25日（水）～令和3年9月1日（水）
- ・ 開会の場所 書面による審議
- ・ 審議会委員 15人
- ・ 事務局 市健康増進課

（議題に対する意見と回答、考え方）

No.	各委員からの意見	事務局からの回答、考え方
1	<p>議題(1)(2)について</p> <p>スケジュールについてはよいと思います。</p> <p>アンケートでも回答されていますが新型コロナウイルスの感染拡大防止のために外出の機会が減っています。計画の策定に当たっては、新型コロナウイルスに負けない健康づくり計画としたいです。</p> <p>高齢化と新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、9項目の低下・悪化はやむを得ないかと思います。順調に改善している項目もあり第3次計画に一定の評価がされてよいと思います。</p>	<p>御意見のとおり、第四次計画は「感染症に負けない心身の健康づくり」を一つのポイントとして策定したいと考えています。具体的な施策は、運動、食事、休養、外出機会の確保など感染症に負けない健康づくりの促進や、正しい知識の普及、啓発等による感染予防対策の推進などを想定しています。</p>
2	<p>「はつらつ健幸ポイント」について</p> <p>①健康づくり推進条例との関係性はありますか。</p> <p>②利用状況について資料があれば見せていただきたい。</p> <p>③以前は「はつらつ健幸ポイント」を活用した取り組みがされていましたが、今もされていますか？今後、可能ですか。</p>	<p>①健幸ポイント事業は、条例で定める「心身の健康づくりの推進」について、歩くことによる身体活動や運動の促進だけではなく、検診・健診の受診や健康的な食生活の促進など総合的に市民の行動を後押しする仕組みとして、関係団体等と協働して実施しています。</p> <p>②令和2年度の参加者の状況について、資料を添付します。</p> <p>③健幸ポイント事業は、令和5年度までは現行の仕組みを基本として実施する予定です。また、令和6年度以降の事業については、参加者の生活習慣等の改善状況や費用対効果を検証しながら検討していきます。</p>

No.	各委員からの意見	事務局からの回答、考え方
3	<p>健幸アンバサダーについて 新型コロナウイルス下で多くの人が集まっても活動が難しい状況下では、健幸アンバサダーによる活動が大きな役割を果たすと思いますが、時間がありましたら宇部市における健幸アンバサダーの状況（人数や活動状況、今後について）を教えてください。</p>	<p>健幸アンバサダー（市が養成する健康情報の伝道師）の概要及び人数や活動状況、今後について、資料を添付します。</p>

No.	各委員からの意見	事務局からの回答、考え方
4	<p>特定健康診査の受診率は、平成30年度は新しい対策を講じられ高くなったが、今後の対策について知りたい。</p>	<p>特定健康診査の受診率は、AIを活用した未受診者に対する受診勧奨通知（平成30年度）や全対象者の受診費用の無料化（令和元年度）により、徐々に向上してきましたが、令和2年度は、コロナ禍の影響等により、受診率が低下している状況です。</p> <p>令和3年度は、がん検診と特定健診の受診券とを一体化し、受診しやすい環境を整えるとともに、今後、コロナ禍において受診控えされる対象者へ、特定健康診査の必要性を市の広報誌、ウェブサイト、SNS（LINE、Facebook）等で周知していきます。また、診療情報の提供（みなし健診）やAIを活用した未受診者に対する受診勧奨通知も引き続き実施しながら、低下した受診率の向上に努めます。さらに、山口県が、「市町国民健康保険特定健診受診勧奨強化月間」の取組として、テレビやFMラジオでのCM放送等も実施しています。</p> <p>今後も、計画推進（策定）ワーキンググループの皆様からアイデアを頂きながら、受診率向上の対策を講じていきたいと考えています。</p> <p>（参考）特定健診受診率の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度：26.2% ・平成30年度：32.1% ・令和元年度：35.7% ・令和2年度：31.9%（見込み） <p>※骨子案では、平成30年度の受診率に誤りがあり30.9%となっていました。お詫びして訂正させていただきます。併せて、健康寿命等の統計データを平成30年度から令和元年度のものに更新しました。</p>
5	<p>生活習慣アンケートで悪化した項目と新型コロナウイルス感染症との関連について十分に分析され、第四次計画に生かしていただきたい。</p>	<p>第三次計画の評価項目と感染症の流行との関連は、十分な分析の上計画策定ワーキンググループに情報を提供し、第四次計画の重点施策、活動指針、具体的な取組等に反映させていきます。</p>

No.	各委員からの意見	事務局からの回答、考え方
6	健幸アンバサダー養成に関わる予算について知りたい。	<p>健幸アンバサダーは、全国的な認定機関である一般社団法人スマートウエルネスコミュニティ協議会が派遣する講師による養成講座を受講することで、認定する仕組みとなっています。また、その費用として、同会への負担金が50,000円/年、認定料が1,000円/人、加えて講師への謝礼や旅費が必要になります。</p> <p>令和2年度は、78人を養成したため、認定機関に135,800円（50,000円＋1,000円×78人×1.1）を、また、講師2人に対して2日分の謝礼（44,000円）、旅費（40,340円）を支払っており、合わせて220,140円を支出しました。</p>
7	地区の特性を生かした健康プランを立てられ実行されていることは素晴らしいと思う。第7章（資料編）が楽しみです。	ありがとうございます。各地区で作成した健康プランがしっかり実行されるよう、市としても引き続き支援していきます。
8	ライフステージに応じた取組、様々な健康レベルに応じた取組の視点は大切と思います。	ライフステージに応じた取組はもとより、骨子案には表れていない健康レベルに応じた取組の視点についても、計画案の作成に当たって考慮するようにします。
9	議題「(5) その他」の意見として、障害のある方でも気軽に出かけられる運動施設や機会（公園等のバリアフリー化、障害者スポーツの普及等）がさらに増えるとよいと考えています。	御意見を踏まえて、計画案の作成に当たっては、障害のある人を含めてだれもが気軽に健康づくりに取り組めることを一つの視点として考慮させていただきます。また、身体活動及び運動（グループ名「動く」）の分野で具体的な取組を検討するに当たって参考にさせていただきます。

No.	各委員からの意見	事務局からの回答、考え方
10	アンケート調査により、運動と食に関わることは達成度、評価が低く、頭打ちの傾向かと思われました。すでに行う人は行っている。関心のない方にどう働きかけるかがキーポイントだと思いました。	いわゆる健康無関心層へのアプローチは、第三次計画においても健康づくりを推進する上での課題の一つと捉えており、インセンティブ付健幸ポイント事業やロコミで健康情報を伝える「健幸アンバサダー」の養成などにより改善を目指してきました。第四次計画では、重点施策の一つとして位置づけ、計画推進（策定）ワーキンググループの意見も取り入れながら、引き続き取組を進めていきたいと考えています。
11	資料2-2-1～2-2-4において第三次計画での「分野ごとの目標」に対する達成状況が報告されていますが、数字のみでは状況がよくわかりません。 2-2-4には集計結果が表の形で表されていますが、これを円グラフにすることにより、理解しやすくなると思います。 さらに分野別の成果指標に対する現状値、目標値からどの分野において達成度が大きく、どの分野が目標値への達成度が低いのかを相対的に示すのが良いのではないのでしょうか。	御意見のとおり、資料に評価区分別集計結果の円グラフと分野別の達成度を割合で示した表を追記しました。
12	割合を示すグラフにおいて、元の図はカラーで作成されたのか不明ですが、モノクロ印刷では区別がよくわかりません。アンケート調査資料（2-1-7）にあるような縞模様を含んだ判例にするのが良いのではないのでしょうか。	御意見を踏まえて資料を修正させていただきます。
13	当日配付資料（2-2-1）「9項目は大きな改善がなく」ではなく「10項目は大きな改善がなく」ではないのでしょうか。	御指摘のとおりです。お詫びして訂正させていただきます。

No.	各委員からの意見	事務局からの回答、考え方
14	<p>目標値の設定については、第三次計画の単独評価でなく、最初（第一次計画）からの結果の変遷を考慮すべきだと思います。今後の目標値は無理な値の設定でなく、実現の可能性がある目標値の設定を第四次計画策定のワーキンググループで検討する必要があると思います。</p>	<p>計画策定ワーキンググループで目標値を検討するときに、第一次計画からの実績値の推移（別添）を提供させていただきます。なお、第三次計画策定時に分野の構成を含めて指標を一新しており、第一次計画期間からの推移を確認できる項目は多くはありません。</p> <p>また、第四次計画の目標値の設定に当たっては、共通の考え方を示し、実現の可能性も含めて妥当性を検証し、なるべく分野ごとのばらつきがないよう平準化を図りたいと考えています。</p>
15	<p>第5章（重点施策）の設定は、妥当なものと思います。</p>	<p>ありがとうございます。他の委員からも反対意見は出ていないため、本案で進めさせていただきます。</p>
16	<p>コロナ禍の状況において、スケジュールが遅れがちになっていると思います。</p> <p>4-1のスケジュール表（ガントチャート）も、実際の状況に合わせて逐次修正・更新して行く必要があると思います。</p>	<p>御意見のとおり、このたびの審議会の開催方法の変更に始まり、今後も感染症の流行等によるスケジュールの遅れが想定されます。可能な作業はなるべく前倒しで実施するとともに、スケジュール表は適宜更新し関係の皆様と共有させていただきます。</p>
17	<p>宇部市民として、ほとんどの活動項目について記憶がありません。年齢とともに健康については関心が高まり、雑誌、テレビ等の情報番組はよく見えています。</p> <p>健康への「動機づけ」及び「継続づけ」を含め、一般市民への健康についての広報体制、方法に問題の一つがあるのではないかと思います。広報うべを含め広報体制の見直しをすべきだと思います。</p>	<p>広報体制については、計画推進（策定）ワーキンググループの皆様からもアイデアを頂きながら、分野別の具体的な取組や計画全体の推進体制（骨子案の第6章）において、今の時代に合った効果的な手法を検討していきたいと考えています。</p>

成果指標実績値の推移

分野	成果指標	1次策定	1次中間	1次最終 2次策定	2次中間	2次最終 3次策定	3次最終 R3	【参考】 3次目標
		H16	H19	H22	H25	H28		
身体活動及び運動	体を動かすことを心がけている人の割合	59%	64%	58%	71%	79%	78%	84%
	プラス10で健康寿命を延ばすことを知っている・聞いたことがある人の割合	—	—	—	22%	32%	—	60%
	1日10分意識的に体を動かす人の割合	—	—	—	—	—	27%	60%
	(参考値:運動習慣のある人(30分週2回の運動を1年以上)の割合)	—	—	—	—	—	34%	—
	週1回以上ウォーキングやスポーツなどの運動をする人の割合	—	47%	59%	55%	43%	49%	60%
栄養及び食生活	野菜を食べることをいつも心がける人の割合	—	—	—	—	67%	58%	72%
	塩分の多い料理を控えることをいつも心がける人の割合	—	—	—	—	41%	36%	46%
	家族が全員そろって食事をする機会が、週2回以上の人(小学1年生保護者)の割合	—	—	—	—	86%	90%	91%
	毎日朝ごはんを食べる人の割合(中学2年生)	—	—	85%	85%	84%	85%	89%
	食品の安全性を意識し、食品を選ぶ人の割合	—	—	—	84%	87%	78%	92%
心の健康づくり	心の悩みについての相談場所がどこか知っている人の割合	—	43%	46%	44%	50%	51%	55%
	心や人間関係の悩みについて相談する人がいる割合	—	—	—	—	77%	74%	82%
	一日に家族以外の人と30分以上話をする人の割合	—	—	—	—	61%	54%	66%
	自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)を減らす	—	—	—	—	19.35	15.83	減少
歯及び口腔	丁寧な歯みがきをする割合(小学4年生)	—	—	—	—	41%	51%	46%
	ゆっくりとよく噛んで食事をする人の割合(小学4年生)	—	—	—	—	58%	65%	63%
	過去1年間に歯の検診を受けた人の割合	—	—	—	—	58%	55%	63%
がん検診、健康診断、保健指導	過去1年間に胃・肺・大腸がん検診の全てを受けた人の割合	—	—	—	—	18%	13%	23%
	過去2年間に乳がん・子宮がん検診の両方を受けた人の割合	—	—	—	—	23%	24%	28%
	過去1年間に健康診断(総合健診・人間ドック)を受けた人の割合	—	—	—	—	69%	67%	74%
	特定保健指導(国民健康保険)の実施率(動機づけ支援)	—	—	—	—	19%	17%	24%
たばこ、アルコール及び薬物	ショッピングモールや飲食店での施設内禁煙を実施している割合	—	—	—	—	42%	59%	47%
	妊婦のいる家族が室内でたばこを吸っている割合	60%	50%	14%	16%	8%	5%	0%
	ほぼ毎日飲酒する人のうち、適量以上飲んでいる人の割合	—	—	—	—	39%	10%	34%
	大麻・覚せい剤・合成麻薬・危険ドラッグなどの薬物を使ってはいけない理由を「わからない」と回答する中学生の割合	—	—	—	—	2%	2%	0%
地域資源を活用した健康づくり	健康づくりパートナー認定件数	—	—	—	—	1件	18件	10件
	健康ビジネス創出件数	—	—	—	—	1件	7件	10件
健康づくりに配慮したまちづくり	健康運動プログラム認証件数	—	—	—	—	2件	2件	15件
	一日に家族以外の人と30分以上話をする人の割合(再掲)	—	—	—	—	61%	54%	70%
	ショッピングモールや飲食店での施設内禁煙を実施している割合(再掲)	—	—	—	—	42%	59%	47%
	学校給食で使用する地元食材の使用割合(金額ベース)	—	—	—	—	33%	49%	40%
	ぶちいいね!ヘルシーメニュー認証件数(累計)	—	—	—	—	15件	47件	55件
人材の育成及び活用	健康まちづくりサポーター登録者数	—	—	—	—	41人	—	50人
	(参考値:健康サポーターと健幸アンバサダーの登録者数)	—	—	—	—	—	604人	—

